

問7(ア)

(ア) 顕微鏡で観察したいものにピントを合わせるときの操作方法として最も適するものを次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- ① 真横から見ながら対物レンズとプレパラートをできるだけ近づけ、次に接眼レンズをのぞきながらプレパラートと対物レンズを遠ざけながら行う。
2. 真横から見ながら対物レンズとプレパラートをできるだけ遠ざけ、次に接眼レンズをのぞきながらプレパラートと対物レンズを近づけながら行う。
3. 接眼レンズから見ながら対物レンズとプレパラートをできるだけ近づけ、次に接眼レンズをのぞきながらプレパラートと対物レンズを遠ざけながら行う。
4. 接眼レンズから見ながら対物レンズとプレパラートをできるだけ遠ざけ、次に接眼レンズをのぞきながらプレパラートと対物レンズを近づけながら行う。

問7(イ)

受粉とは、花粉がめしべの(a)につくことであり、受粉すると、花粉管は、めしべの子房内にある(b)に向かってのび始める。花粉管の先が(b)に達すると、花粉管の中の精細胞の核が、(b)の中の卵細胞に受け入れられて、卵細胞の核と精細胞の核が合体する。

1. a-子房 b-胚珠
- ② a-柱頭 b-胚珠
3. a-子房 b-種子
4. a-柱頭 b-種子

